

どちらのゲームも参加者同士が話し合うことを目的としていて、知らず知らずのうちに打ち解けていきました。

室内ゲームの次は、芝生広場で「だるまさんがころんだ」や「ドロケイ」をしました。広い広い牧場を縦横無尽に走り回りました。疲れを知らない中学生です。



食堂に集合して美味しくいただきました。チキングリル、温野菜添え、シュープレゼ、ジャガイモスープ、デザートでした。



キャンプファイヤー

ごちそうさまをして、すぐに先程ドロケイをした広場に出ました。もう真っ暗でしたが、薪がすでに積まれており、4本のトーチも着火されるのを待っていました。

1本目のトーチは火の神様用で、最初に着火されます。2本目は友情の火、3本目は勇気の火、4本目は挑戦の火です。いずれも八王子実践中学校が大切にしているものです。火の神様からいただいた火を井桁に組んだ薪に着火します。あっという間に燃え上がりました。

時間が経つと肌寒くな



りましたが、焚き火の方は暖かく、「友情」「勇気」「挑戦」の心が染み込んでくるようでした。

そして、始まったジャンケントレインのあと、3年生が音頭を取って、合唱の始まりです。嬉しかったのは、校歌の斉唱です。1年生は習ったばかりなのに、大きな声を出してくれました。2,3年生もコロナのせいで今まで歌えなかった分、一層楽しめました。最後には「蛍の光」「君が代」斉唱で火の祭典を終えました。

その後、入浴、健康観察のち就寝です。



2日目 ネイチャートレッキング

6時起床です。ネイチャートレッキング用の服装をして7時15分から朝食でした。その後8時20分には大広間で4名のレンジャーさんをお迎えしました。清泉寮の活動の一つである「自然保護」を最前線で担っている方々です。

合学年の4つの班(1ページ目の写真)に分かれ、早速トレッキングに出発しました。

まずは、樅(もみ)の木の葉を一枚取り、半分にしてにおいを嗅ぎます。森林浴で有名になったフィトンチッドの香りでした。若い人には苦手な匂いでしたが、筆者には良い匂いでした。

車が通れる道と森の中の地面の硬さを比べます。落ち葉や枯れ葉が積もっていて、地面そのものも柔らかかったです。細い小枝をその地面に突き立て、モグラの穴を捜しました。

剥製(はくせい)も見せても



らい、毛並みを触ってモグラが土の穴の中を前後に動ける毛並みの仕組みを勉強しました。モグラだけでなく他の様々な生物や微生物の働きで黒くてふわふわして栄養満点の土ができていくことを学びました。



次は、4~5人で協力して、どんぐりや葉っぱなどで美味しくな料理もどきを作ります。和風、フレンチ、激辛系、などテーマが与えられるので、それらしく見えるように皿の上に料理を飾り付けます。

最後は、森の中に敷物を敷き、目を閉じ、3分間無言で自然の中に身を委ねました。聞こえるのは鳥の声、そよ風が木々の葉や枝を揺らす音だけです。レンジャーさんの合図で目を開けた時、なんとも言われぬ充実感を感じました。自然が体や頭の中に入ってきたという実感です。

このようにトレッキングは終了し、なごり惜しい清泉寮をあとにしました。

皆で夕食

